

## 将来のあるべき姿の到達度を測定する指標(案)とアプローチ(北河内二次医療圏)

## ●将来のあるべき姿の到達度を測定する指標(案)について

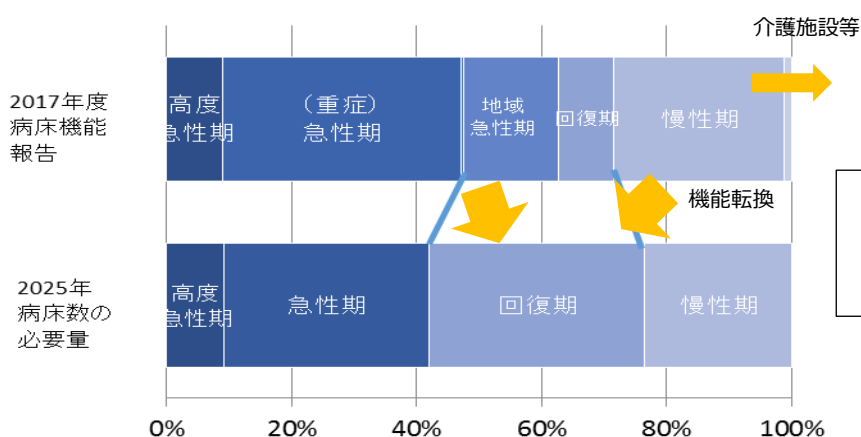
将来のあるべき姿の到達度を測定する指標として、「将来にむけて回復期への転換が必要な病床」を設定し、今後、地域医療構想の進捗状況をモニタリングする。

病床機能報告の最終集計から、病床数の必要量における「回復期機能を担う病床数の確保」には、他の病床機能から約 10%程度同機能への転換が必要と推計

## ○病床機能報告(2017年度)と病床数の必要量(2025年)の比較

区分	年度	高度急性期	急性期			回復期	慢性期	休棟等	合計	【備考】 未報告等	
			(重症)急性期	急性期(不明)	地域急性期						
病床機能報告(病床数)	2017	924	5,522	3,921	51	1,550	926	2,807	115	10,294	19
				3,972		2,476					
病床機能報告(割合)	2017	9.0%		38.1%	0.5%	15.1%	9.0%	27.3%	1.1%	100.0%	
		↑0.2%		38.6%	↓5.6%	24.1%			↓3.8%		
病床数の必要量(割合)	2025	9.1%	32.9%			34.4%	23.5%			100.0%	
【参考】病床数の必要量(2017年度報告病床数に対する病床数)	2025	940	3,391			3,542	2,421			10,294	
【参考】病床数の必要量(2013年の需要をベースとした病床数)	2025	1,197	4,319			4,511	3,083			13,110	

病床機能報告(地域急性期+回復期)  
と病床数の必要量(回復期)の  
割合の差 10.4%



【参考】将来に向けて回復期への転換が必要な病床  
10,294(2017年度報告病床数総計)×10.4%  
=約 1,100床

**【参考】病床の介護施設への転換が「病床数の必要量」に及ぼす影響**

○2017 年度病床機能報告における介護療養病床（197 床）が介護医療院等へ転換した場合の病床機能報告（2017 年度）と病床数の必要量（2025 年）の割合の比較は下記のとおり。

区分	年度	高度急性期	急性期			回復期	慢性期	休棟等	合計	【備考】未報告等	
			(重症)急性期	急性期(不明)	地域急性期						
病床機能報告(病床数)	2017	924	5,522	3,921	51	1,550	926	2,610	115	10,097	19
				3,972		2,476					
病床機能報告(割合)	2017	9.2%		38.8%	0.5%	15.4%	9.2%	25.8%	1.1%	100.0%	
		↓0.02%		↓6.4%		↓24.5%		↓2.3%			
病床数の必要量(割合)	2025	9.1%	32.9%			34.4%		23.5%		100.0%	
【参考】病床数の必要量(2017年度報告病床数に対する病床数)	2025	922	3,326			3,474	2,374			10,097	

**【参考】**  
**病床機能報告(地域急性期+回復期)と病床数の必要量(回復期)の割合の差**  
**9.9%**

**【参考】病床機能報告（2017 年度暫定集計）と病床数の必要量の比較**

●病床機能報告と病床数の必要量の比較

区分	年度	高度急性期	急性期	(重症)急性期	急性期(不明)	地域急性期	回復期	慢性期	休棟等	未報告等	合計
病床数の必要量	2013	994	3,227				3,150	2,543			9,914
病床機能報告	2014	894	5,710				863	2,487	8	559	10,521
病床機能報告	2015	1,035	5,445				1,351	2,435	9	233	10,508
病床機能報告	2016	910	5,442				901	2,755	108	319	10,435
病床機能報告	2017	924		3,811	170	1,489	926	2,735	113	145	10,313
病床数の必要量	2025	1,197	4,319				4,511	3,083			13,110

合計 5,470

区分	年度	高度急性期	急性期	(重症)急性期	急性期(不明)	地域急性期	回復期	慢性期	休棟等	未報告等
病床機能報告	2017	9.1%		37.5%	1.7%	14.6%	9.1%	26.9%	1.1%	—
病床数の必要量	2025	9.1%	32.9%				34.4%	23.5%		

**サファキュート・ポストアキュート・リハビリ機能の現状と将来の予測**

①病床機能報告

地域急性期+回復期	23.8%
-----------	-------

②病床数の必要量（2025 年）

回復期	34.4%
-----	-------

**割合の差**  
**10.7%**